

「まとめの時期」

副校長 小川達夫

寒さの中にも、春の足音を感じる季節となりました。早いもので間もなく3月を迎え、今年度も残すところ1か月となりました。保護者並びに福祉園職員の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて2月4日に本校では、令和7年度第3回学校運営連絡協議会を開催しました。学校運営連絡協議会は、学校に対して外部評価を行う機関であり、また、学校の教育活動に直接関与しない地域や都民の方々から学校経営に関する様々な意見を聞くことができる貴重な機関でもあります。本校では、大学准教授をはじめ、日野市福祉行政、進路先、交流校校長、自治会長、PTA会長、福祉園園長など多岐にわたる方々に委員をお引き受けいただいています。年に3回実施し、今回は一年間のまとめの会となり、児童・生徒や保護者、福祉園職員等の皆様からいただきました学校評価アンケートの結果を委員の方にお伝えし、評価委員長からは、次年度に本校が取り組むべきことを御提言としていただきました。御提言でいただきました内容は、すべての教職員に情報共有し、良い点についてはさらに高みを目指し、改善すべき点は、真摯に受け止め改善して参ります。また、会の前半には中学部作業学習の授業見学をしていただき、代表の生徒が緊張しながら作業内容の説明をする姿や生徒たちが真剣に学習に取り組む様子を御覧いただくことができました。委員の方からは、毎回、児童・生徒が成長している様子が見られるとお褒めの言葉を多数いただき、大変光栄に思いました。外部の方に学校の様々な取組について、評価していただくことの大切さを改めて実感することができました。

3月はいよいよ卒業・修了の時期となります。健康に留意し、残り少ない学校生活が充実したものとなるよう支援して参ります。なお、学校評価アンケートの結果及び回答につきましては、3月に行います全校保護者会で御報告いたします。御家庭・福祉園の皆様には今後とも御協力のほど、よろしく願いいたします。

～ 令和7年度 高等部 生徒会選挙 ～

2月6日(金)に生徒会選挙が行われました。今年度の候補者は会長1名、2年副会長1名、1年副会長2名、2年書記1名、1年書記1名が立候補しました。

3学期に入ると立候補者は、選挙までの準備として、仲間に応援演説を依頼したり、選挙ポスターや演説原稿の作成をしたりと準備に追われていました。選挙運動が始まると昼休みに各学級を訪ね、選挙演説を行っていました。「あいさつ運動を通して、学校を明るい雰囲気になります。」「日野高校との交流をもっと盛り上げます。」など各々が実現したい未来の学校のイメージを伝えていました。選挙当日は今年度から選挙演説と応援演説の他に、質問コーナーを設けました。「立候補した今の気持ちはいかがですか?」「どんな学校が理想ですか?」などの質問に候補者たちは真剣に答えていました。投票の場面では、一人ひとりが自分で考え、任せたいと思った候補者の名前を記入し、投票を行っていました。開票は即日行い、9日(月)の昼に放送で結果を発表しました。当選した生徒、惜しくも落選してしまった生徒がいましたが、考えを実現させるためにはどのようにすればよいかなど主体的に考え、チャレンジしたことは今後の大きな力になったと感じます。

令和8年度からは新しい生徒会が中心となり、自分たちの思い描く七生特別支援学校が実現できるよう高等部の一員としての自覚をもち、活動してほしいと願っています。今後も高等部では、主体的に考え、社会と積極的に関わろうとする態度や力を育てていきます。

(主幹教諭 川中 舞)